

本年度の戸倉上山田中学校の学校自己評価を、生徒・教職員のアンケート(内部評価)と保護者アンケート(外部評価)をもとにまとめました。まとめをご覧の上、来年度も本校の教育にご理解とご協力をお願いいたします。

I 学校自己評価の目的

学校自己評価は、戸倉上山田中学校グランドデザイン(以下G D)に示された学校の教育目標に基づく教育活動や学校運営の状況について自ら評価し、その結果を公表して『よりよい学校づくり』のために行うものです。

これによって、教職員は、教育活動や学校運営の成果と課題を明らかにすることができます。また、保護者や地域の皆様は、学校の目標や教育活動をより深く理解でき、共に学校をつくっていこうとする意識や態度をもつことができます。

本年度の教育課題と重点

協働的な学びを位置づけ、基礎基本の確実な定着を図る

1 学びづくり

⇒ 智を交換し合う必然性の高い課題によって協働的な学びを促す

2 生活づくり

⇒ 「プライドファイブ」を生徒ともに徹底し安定した生活を構築する

3 「働き方改革」の推進

⇒ 学校・教員の担うべき業務を明確にし、長時間勤務という働き方を改善する

II 学校自己評価の方法

1 アンケートによる調査

(1) 生徒の授業生活評価・教師の授業診断

全校生徒を対象に、授業及び学校生活についてのアンケートを行い、日頃の授業や生活について分析しました。また、教師の自己診断も実施し分析しました。

(2) 保護者アンケート

本年度の重点目標にかかわる内容についてアンケート用紙に回答してもらい、12月の保護者懇談会で回収しました。回収率は約51%(昨年度約53%)でした。

(3) 教職員による自己評価

本年度の重点目標にかかわる具体的な教育活動について、年度末に向けて自己評価を行いました。

2 結果のまとめ方

肯定的か否定的かを明らかにするため、保護者アンケートについては選択肢を【ア:十分 イ:だいたい ウ:あまり エ:全く オ:分からない】の5段階にしました(生徒、教職員アンケートは4段階)。

昨年度と比較するために、ア・イを肯定的ととらえて、全体に占めるア・イの割合を肯定率(%)としてグラフ化しました。

III 結果と考察 (GDIに示した検証方法に沿って)

1 「学びづくり」について

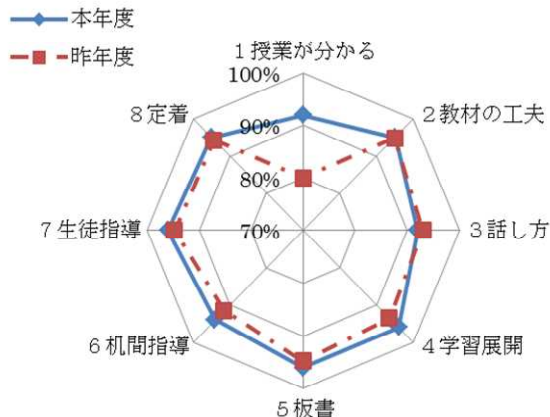
A 授業について

(1) 内部評価(生徒)

生徒を対象に授業に対するアンケートをとりました。内容は、①授業が分かるか ②教材の工夫 ③授業中の話し方 ④学習

展開の工夫 ⑤板書 ⑥机間個別指導 ⑦生徒指導 ⑧基礎力定着」について、生徒がそれぞれの立場から日常の授業評価をしました。

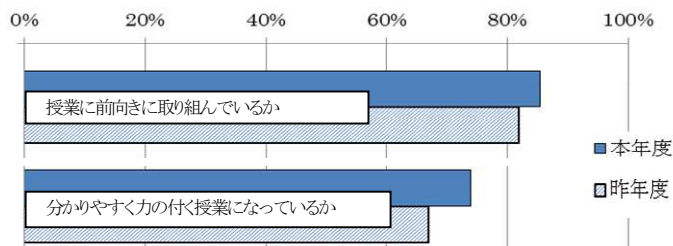
H30 生徒による授業評価



全ての項目での肯定率が90%を超えました。③では昨年度より1ポイント下回りましたが、その他は昨年度よりも肯定率が上昇しました。これは、生徒の学びに向かう姿勢が向上しているとも考えられます。また、①「授業がわかる」が昨年度よりも大きく上回ったことから、昨年度から実施を試みている「協働的な学び」を志向した授業の成果が表れているのではないかと考えます。一方で生徒から、授業内容や教師の話し方によるわかりづらさ、ドリル学習等の定着指導をはじめとした要望もあります。生徒の声に応えられるよう、今後も指導力の向上を目指していきたいと思ひます。

(2) 外部評価(保護者)

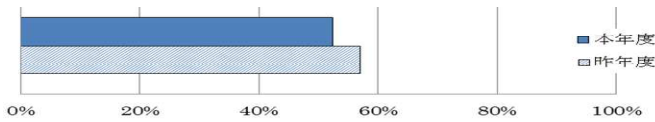
保護者の皆様からは、『授業に前向きに取り組んでいるか』について85%の方に(昨年度82%)、『力のつく授業になっているか』について74%の方に(昨年度67%)肯定的に見て頂いています。保護者の皆様からの評価でも、設定目標値を上回りました。



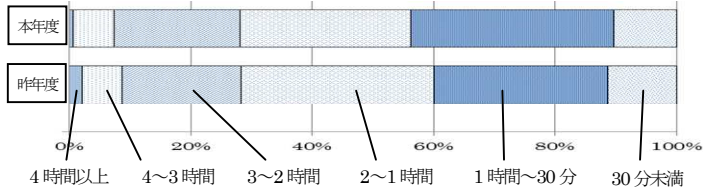
B 家庭学習について

お子さんの家庭学習を、『計画的に取り組んでいる』としている保護者の皆様は、昨年度の57%から52%に減少しました。家庭学習時間の内訳では、家庭学習1時間以上が56%と、昨年度より5ポイント下回りました。その分、0.5時間から1時間の生徒が34%(昨年度29%)と増えています。家庭学習の充実・自学自習の取り組みを目的としたつばさタイム・水曜SPを含めて家庭学習の指導を見直し、生徒の自主的な学習姿勢を醸成して、家庭学習時間を充実することができるような手立てや家庭との連携策を考えていきたいと思ひます。

<家庭学習の取り組み>



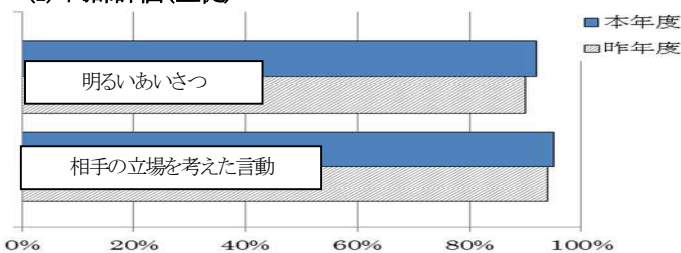
<家庭学習時間>



2 「生活づくり」について

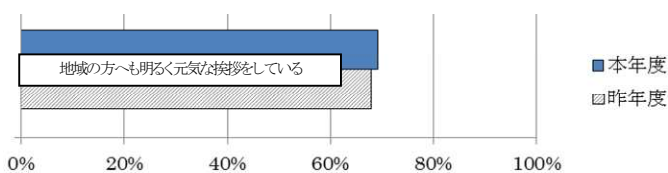
A 明るく元気な挨拶について

(1) 内部評価(生徒)



『相手の立場や状況を考えた行動』がとれたとした生徒、『明るいあいさつ』ができたとした生徒は、いずれも昨年度より上回りました。

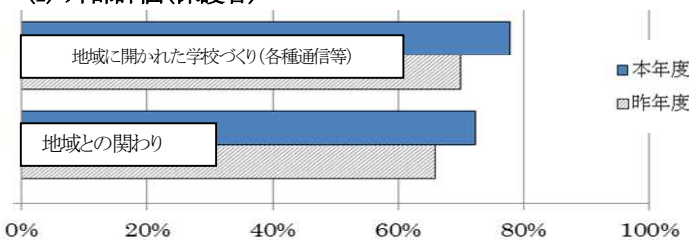
(2) 外部評価(保護者)



保護者の皆様からも、「ハッとするほどよく挨拶をしてくれる子がいる。」「参観日にはみんな挨拶をしてくれる。」というご意見がある一方で、「家の前を通っても挨拶をする生徒はいない。」「朝学校へ行っても挨拶するのは2、3人。」「数年前はこちらが圧倒するほどであったが、最近は声も小さい。」というご指摘もあります。生徒による差や、生徒たちの意識と周囲の見方とのギャップが大きいと感じています。挨拶は安定した生活を構築するための指標の1つと考えますので、来年度も重点にしたいと思います。全校で問題を共有し、職員が具体的な指導をし、全校の意識を高めて改善していきたいです。

B 学校からの情報発信、地域との関わりについて

(1) 外部評価(保護者)



学校からの情報発信に関しては70%から78%に向上し、地域との関わりについても、肯定率が昨年度の66%から72%へと増加しました。今後も、各種通信等での情報発信を継続していきたいです。

IV 保護者の皆様から

アンケートの中で、保護者の皆様から貴重なご意見や励ましの言葉をいただきました。以下にその一部を紹介し、来年度に向けて参考にさせていただきます。

1 学びづくりについて

- 授業では、自分の意見や考えを发表或し、説明したりする場を多く持ってほしいです。
- 授業は子どものためにわかりやすく指導いただいているが、それを家庭でうまく復習していないので、残念です。
- 授業が終わった後などに、子どもがわからないところを聞ける時間を作ってほしいです。

2 生活づくりについて

- 自分から挨拶ができるよう、みんなでしっかり毎日あいさつして行ってほしいです。
- 完全無言清掃を初めてみたときはびっくりしました。中学生が真剣に清掃している姿に感動しました。
- 見られている下駄箱だけでなく他でも靴が揃えられたり、進んでボランティアに参加したりすることができるような育成がされるとさらに良いと思います。

3 プライドファイブについて

- 生徒一人ひとりが5つのことにきちんと取り組む姿勢になればとても良い学校になると思います。決められた期間だけでなく、常にそういった心がけを忘れずにしていくことが大事だと思います。
- 中学生になると恥ずかしいという気持ちが出てくると思いますが、大会等で他校から「え？」という顔をされながらも堂々と応援歌を大声で歌う姿は素晴らしいです。歌い終わった後は他校からも盛大な拍手を受けています。ずっとずっと続けてほしい。大変誇らしいことです。
- 戸上中の壮行会、つばさ祭は素晴らしく、生徒の皆さんに元気をもらっています。素晴らしい校舎で学ばせて頂けることへの感謝を忘れず、「あいさつ」「清掃」「心を揃えた」行動で地域に感謝を伝えてほしいです。

4 部活動について

- 大会等でなければ、土日どちらかは休み、若しくは半日にしていただきたい。できれば、親の手を借りずに自分たちで行動できる範囲でお願いしたい。
- 部活動時間短縮やつばさクラブの開始は良いと思いますが、平日の部活動時間を短縮しすぎてやる意味を感じません。その分をつばさクラブで補うというのも、長時間の活動になることと、子どもたちの集中が続かないということもあり、効率が悪い気がします。やっていく内に改善していけるのかなと思ひ、見守りたいと思います。
- つばさクラブは、先生方の負担が減るのは喜ばしいが、地域の人や保護者が見るようになることで、更に子どもたちの負担が増えないようにしていただきたい。

5 その他

- 自転車の乗り方が危険です。1台の時は良いが、数台で走っている時のマナーがとても悪いです。自分たちだけの道だと勘違いしているのではないのでしょうか？
- やはりスマホのことが気になります。まだ持たせてはいませんが、書き込みでのトラブルも聞いています。親としても注意していきたいです。
- 新校舎になり、以前に比べて地域の方々の関心が高いようです。ここで学ぶことができることに感謝できる人間になつてもらいたいです。